



# 秀麗の丘

学校だより 号外  
令和3年2月16日  
発行人 八木沼孝夫

教育目標 21世紀を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

**知性**：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

## どんな困難も仲間となら乗り越えられる!!

2月13日(土)23時08分、福島県沖を震源とするマグニチュード7.1の強い地震が発生し、須賀川市は震度6弱の揺れを観測しました。地震発生の際には、ご不安とご心配なお気持ちかと思えます。また被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

本校の被害状況ですが、ロッカーや棚等の横転や一部校舎の亀裂等がありました。特に校舎の東西部分を接続しているジョイント部分の揺れがひどかったようで、2の1・3の3の教室はそれぞれ学習室・会議室で応急的に代用することになりました。また体育館の被害もひどく、窓枠の落下や屋根への被害が確認されて、しばらくは使用できない状態です。今後、体育館を使用する授業や部活動、学校行事等に影響が出ると思われます。

今後も余震が発生する可能性もありますが、学校としては生徒や教職員の安全・安心を確保しながら教育活動を進めていきたいと考えております。

東日本大震災の時も、本校は体育館を中心に大きな被害がありました。あの時も、保護者や地域の方々から多大なるご支援をいただきながら、生徒と教職員が一丸となって困難を乗り越えてきました。当時の記録を見ると、生徒会が中心となって、「今こそ一中生全員の力を一つにすること、そして、今できることを探し、積極的に行動しようと、年間スローガンを”We are the one ～立ち上がれ一中～”と設定して団結した。」とありました。

コロナ禍の厳しい中で、震災から10年を迎えるこの時期に大きな地震が発生してしまいましたが、今まで前を向いてがんばってきた私達です。あの東日本大震災を乗り越えた先輩方と同じように、生徒と教職員がみんなで協力し合いながら困難を乗り越えていきましょう。

私たちの大先輩である漫画家の鈴木央さんは、今年の秀麗祭の時に、”どんな困難も仲間となら乗り越えられる”という熱いメッセージを私たちに贈ってくれました。この言葉を肝に銘じて頑張りましょう。



ジョイント部分の亀裂



校舎外側の亀裂



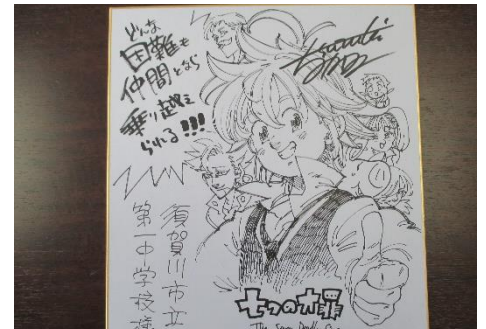
散乱した生徒のロッカー



落下した体育館の窓枠



体育館フロア



鈴木央さんのメッセージ